

「はままつ地域貢献パートナーズつなぐ」結成！

浜松の企業8社
市社協に菓子寄贈

浜松市内に拠点を置く企業8社でつくる「はままつ地域貢献パートナーズ（愛称・つなぐ）」はこのほど、浜松をテーマに小学生が描いた絵をパッケージに施した菓子120袋を市社会福祉協議会に寄贈した。

菓子はサツマイモをスライスして揚げた「しづおかのパリパリ芋チップス」。小学生に、自分たちの作品が形になる喜びを感じてほしいと企画した。市内の子ども食堂などに配布予定という。

中区で行った贈呈式では、つなぐの代表を務める三立木材（天竜区）の河島由典社長が「子どもたちの未来のために、何か役に立てば」と話し、市社協の山下文彦常務理事に菓子を渡した。

つなぐは、社会貢献や地域福祉を進めようとLPGガス販売のエネジン（中区）の呼びかけで結成された。3月には、障害者支援や空き家問題対策に向けた協定を市社協と締結するといふ。

代表＝浜松市中区
浜松市社会福祉協議会の山下常務理事（左）に菓子を手渡す河島常務理事（右）



静岡新聞に、「はままつ地域貢献パートナーズ つなぐ」結成の記事が掲載されました。
『つなぐ』は、エンジンの呼びかけに賛同していただいた 浜松に拠点をおく8社で結成。
各自の強みを生かして、地域課題を連携して解決していくことを目的としています。
活動の第一歩として、杏林堂薬局で販売中の「しづおかのパリパリ芋チップス」を、
こども食堂などに配布するために浜松市社会福祉協議会に寄贈しました。
社会課題となっている空き家対策や、障がい者就労支援など、引き続き活動していきます。
今後も、知恵を絞り、地域の企業や皆様のお役に立てる活動に取り組んでまいります！

令和5年(2023年)3月3日(金) 静岡新聞

